報告日時　平成年月日（　）　時　　分現在

危機対応報告書（第一報）

宛　　　先　北海道建設部建築局＿＿＿＿＿課（FAX　011-232-1092）

工事監督員（　　　　　　　　　　　　　　）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 報告者 | 受注者 |  |
| 現場代理人 |  |
| 連絡先 | 携帯電話現場電話現場FAXメール |

次のとおり自然災害（事故）について、報告します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 工事名 |  |
| 発生場所 | 工事現場　□内・□外　　（場所：　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 工期 | 平成　年　月　日～平成　年　月　日 |
| 報告分類 | □自然災害（□竜巻　□雷　□大雨　□暴風　□大雪　□暴風雪　□地震〔震度：　　〕） |
| □事　　故（□Ａ人身　□Ｂ爆発　□Ｃ火災　□Ｄ環境　□Ｅ物損） |
| 被害者 | ※被害者が多数ある場合は、別紙でも可住　所氏　名連絡先（本人の了解を得て記入すること） |
| 加害者 | ※加害者が多数ある場合は、別紙でも可住　所氏　名連絡先（本人の了解を得て記入すること） |
| 被害状況 | 人的被害 | 病院名 | 電話 |
| 所在地 |  |
| 物的被害 | 物件名 |  |
| 所在地 |  |
| 工事対象物の被害 | □無　□有（程度を記載　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 事故概要 | ※任意の様式で別紙としても良い。 |
| 第Ｎ報報告予定 | 次回の報告予定時期及びその方法平成　年　月　日　時　分頃　　□電話　□FAX　□メールにより報告予定 |
| その他連絡事項 | ※監督職員への連絡するべき事項があれば、適宜、記入する。例：工事現場内での被害はないが、近隣施設が被害を受けるなど工事に影響する恐れがある場合。例文：強風により隣接する住宅の屋根が飛ばされ、現場内に飛散する恐れあり。 |

※　この様式は、異常気象警報等に対する状況及び、事故が発生した場合の報告に使用する。

※　第二報以降は、表題部分を修正して使用する。